

図案表現 課題

2020年・前期の商業施設士資格試験・構想表現（実技）試験、**図案表現**は、以下の内容などをもとに、試験時間内（180分）に、設計主旨、平面図、透視図（イメージパース）を完成させる課題となっています。

テーマ：「駅ビル内の集いとくつろぎの快適な店舗」

－ 周辺環境 －

1. 複数の路線が交差する主要ターミナル駅ビル内の店舗。
2. この地はもともと商工業が盛んな街で、近郊に大学などの教育機関も多く、地元住民、工場等の就業者、学生などが利用する駅ビルである。
3. 計画店舗（指定された区画）は、改札フロアの通路に面したメイン店舗である。

－ 設計対象等条件 －

指定された区画に、「物品販売施設」もしくは「飲食サービス施設」のどちらかを計画する。

なお、「物品販売施設」・「飲食サービス施設」共に、店舗の形態および取り扱い商品は自由とするが、業種を決める。

－ 設計図書 －

設計主旨：200字程度で、具体的にかつ簡潔に

平面図：縮尺1：100、鉛筆等を用い（フリーハンド可）、答案用紙の所定の位置に作図する。
面積、家具、仕上、寸法（単位：ミリメートル）等を記入

透視図（イメージパース）：内観パースまたは外観パースとする（フリーハンド可）。着色（色鉛筆あるいはマーカー）

[答案用紙：A3判 × 2枚]

注 i：その他の与条件については、試験日当日の構想表現（実技）試験時間内に問題用紙に記載して配布します。

注 ii：卓上計算機の使用は可となっていますが、携帯電話の機能の中の計算機（電卓機能）は使用不可とします。

注 iii：その他試験に関する詳細は総合案内書をご覧ください。

注 iv：本紙は、試験時間中に試験室（決められた座席）に、携行することができません。